

[広報]

つるおか

2020
令和2年
1月号
No.262
毎月1日発行



02 〈新春座談会〉

もっと元気なまちにしたい

— 地域まちづくり未来事業の取り組み —

10 〈特集〉

鶴岡の2019年を振り返る

六所神社獅子舞 (青龍寺地区)



新春座談会の出席者。左から五十嵐丈さん（温海地域）、小林良市さん（櫛引地域）、井上夏さん（藤島地域）、皆川市長、佐藤祥子さん（鶴岡地域）、小野寺学さん（朝日地域）、勝木正人さん（羽黒地域）

新春座談会

もっと元気なまちにしたい －地域まちづくり未来事業の取り組み－

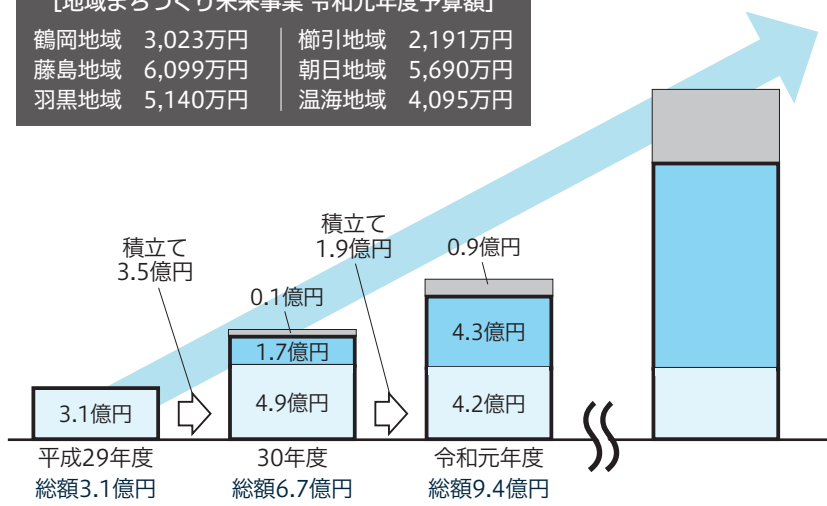
少子高齢化に伴う人口減少や担い手不足など課題が山積する中、それぞれの地域では個性を發揮しながら、地域の魅力の更なる向上を目指し活動しています。各地域で特色ある取り組みを行っている皆さんに、活動する中で感じた課題や今後の展望、地域に対する思いなどを語っていただきました。

地域まちづくり未来基金の造成イメージ

- 起債を充当した事業費の累計
 - 基金を充当した事業費の累計
 - 基金残高
- } 基金の積立額の累計(太枠)

〔地域まちづくり未来事業 令和元年度予算額〕

鶴岡地域	3,023万円	櫛引地域	2,191万円
藤島地域	6,099万円	朝日地域	5,690万円
羽黒地域	5,140万円	温海地域	4,095万円



地域まちづくり未来事業とは

平成17年の6市町村合併時に積み立てたまちづくり基金を原資に「地域まちづくり未来基金」を創設し、それを主な財源として各地域の魅力あるまちづくりに活用する事業で、平成30年に取り組みを開始。

事業は、地域まちづくり未来事業計画等に基づいて行われる。この計画は、地域住民の幅広い意見やアイデアを反映させ、さらに各地域振興懇談会や鶴岡まちづくり塾、地域まちづくり未来事業検討会議など様々な場面で意見を伺い策定して、毎年見直しを行うこととしている。

一同 明けましておめでとうございま
す。

市長 今日、「地域まちづくり未来
事業」がテーマということで、各地域
で頑張っている皆さんと話し合いをして
いきたいと思っています。

私は東京で働いていましたが、鶴岡
のために働きたいという思いがあり戻
ってきました。私の家は代々農業を営
んでおり、私自身農林水産省で働いて
いたということもあり、各地域の特色
ある農林漁業は大切だと思っています。
美しい自然とそこにある産業、それ
を基盤に、旧市町村それぞれのすばら
しい所を伸ばして鶴岡市全域の発展を
図りたいと思っています。

市長就任後、合併したときに積立て
をした3・1億円を活用し、各地域の
特色ある取り組みを支援するための財
源として「地域まちづくり未来基金」
を創設しました。継続して事業に取り
組むことができるように、毎年使わず
に残った予算の一部を基金に積み立て
ていくことにしています。各地域限ら
れた財源ではありませんが、地域の皆さ
んで必要なことを話し合っ、地域の
ために生かしていただきたいと考えて
います。

東北一広い鶴岡市の各地域の方向性
について、私が細かいことまで決めて
やっていたことは物理的に不可能
です。地域のことをよく分かっている
地域の方々自身が主体的に考えて取り

組むことが大切です。今日は市の支援
の在り方や進め方も含めてご意見を
聞かせください。

それぞれの取り組み

司会 皆さんからは、策定した地域ま
ちづくり未来事業計画に基づいてそれ
ぞれ取り組んでいただいています。始
めに、皆さんの活動内容について教え
てください。

井上 まず、地域まちづくり未来事業
ができてありがたいなと思っています。
農家にお嫁に來たので農業にも関わっ
ていますが、私が地域のまちづくりと
して取り組んでいるのは、新しくでき
た藤島歴史公園「Hisu花」の活用
です。市民20人くらいが実行委員にな
りワークショップを立ち上げ、どのよ
うにしたら公園を皆さんから使つも
らえるかなどを話し合っています。今
年度からリーダーを務めさせてもらっ
ています。

昨年度からイルミネーションの事業
を行っており、皆さんの意見も聞き入
れながら、リーダーとして自分なりの
考えを持って事業を進めさせてもらっ
ています。

勝木 私の住む羽黒地域の手向地区は
少子高齢化の影響を大きく受けていま
す。現在、地区の人口は約1,300
人ですが、このまま何もしなければ
2045年には300人を切ると予測

地域まちづくり未来事業計画における各地域の柱

■鶴岡地域

- ①未来を見据えた住民主体のまちづくりの推進
 - ②地域の明日を担う人材の確保・育成
- 鶴岡地域では、広域コミュニティ組織が、目指す地域の姿の実現に向け取り組むプロジェクトを策定し、その中に位置付けた事業を提案し実施。今年度は三瀬地区、第二学区、加茂地区、小堅地区が取り組む。

■藤島地域

- ①豊かな田園文化の継承と水田農業革命の実現
- ②歴史と文化、交流が彩るふじのまちづくりの推進
- ③くらしやすい“藤島”を実感できる生活基盤の再構築

■羽黒地域

- ①人を惹きつけ魅力あふれる観光の推進
- ②地域の特色を生かし価値を高める農業の推進

■櫛引地域

- ①果樹産地の特色を生かしたフルーツの里づくり

- ②農業自然体験に着目した都市農村交流の推進
- ③地域を越えて連携する広域観光圏の形成
- ④黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進
- ⑤コミュニティの活性化と安全安心な地域づくりの推進

■朝日地域

- ①中山間地における定住環境の支援
- ②森林資源、自然環境などを活用し、中山間地に特化した農林業の振興
- ③自然、文化、風土など、地域資源を活用した観光の振興

■温海地域

- ①あつみ温泉の魅力の向上と賑わいの創出
- ②日沿道延伸を生かした鼠ヶ関周辺地域の活性化
- ③自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大
- ④農林水産資源のブランド化
- ⑤次代を見据えた自治会機能とコミュニティ機能の強化
- ⑥海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備

されています。ですから、観光に関係する生業なりわいを作つて、門前町手向に人を呼び込むということに力を入れてきました。しかし、まだ思うような結果は得られていません。

また、今特に力を入れて取り組んでいるのは、このまちをどうするかという未来像を描く「門前町地域活力創出ビジョン」の策定で、今年度完成します。

3つ目は、宿坊街の町並みの保全・整備です。今年度は40戸に提灯ちようちんを設置しました。神社から木材をもらい、村の大人さんに台を作ってもらつてそこに提灯を掲げました。市長さんからも通りを歩いていただきました。来年度もやりますので、またお越しいただきたいと思っています。

小林 江戸時代、熊本城主・加藤清正の息子、忠廣は酒井家お預けとなり、その後の生涯を丸岡で過ごしました。そういった歴史を顕彰することを第一の目的として、大正2年に荘内加藤清正公忠廣公遺蹟顕彰会が発足しました。ただ知識としての歴史を伝えるだけではなく、祭りや丸岡桐箱踊りという伝統芸能、鯉もちという伝統料理と組み合わせる活動し、伝承や地域づくりにつなげていきます。

また、櫛引地域で計画している事業は、観光と関わりのあることばかりなので、櫛引観光協会全体で取り組んでいます。地域の関係団体が連携して、一つの場所だけで終わらないように、

その事業を生かして、地域全体の観光振興に波及していければいいなと考えています。

小野寺 月山あさひ振興公社は、道の駅「月山」月山あさひ博物館や湯殿山スキー場の管理運営を行つていて、各種イベントの開催などにも取り組んでいます。

あさひむら観光協会では、近年、路線バス廃止による登山客の減少がみられたため、対策として今年度夏季観光バス事業を実施し、朝日地域住民の足としても利用されました。また、月山あさひ博物館の文化創造館に事務所を併設し、食と六十里越街道トレッキング連携事業などに取り組むほか、庄内の玄関口として観光案内や情報発信を行つています。

五十嵐 私はNPO法人自然体験あつみコーディネートと羽越のデザイン企業組合という2つの会社で働いています。どちらも目的は一緒で、先人が引き継いできた地域の自然や文化、社会を次の世代に引き継いでいくことです。

その方法として、自然体験あつみコーディネートでは、温海ならではのモノ・コトを体験プログラム化して、温海地域を訪れたお客様に提供しています。羽越のデザイン企業組合としては主に、しな織の原料となるしなの木の花を原料としたコスメの販売をしています。地域の魅力を次の世代につないでいくためには、知ってもらうことと、



小林 良市さん

櫛引観光協会会長、荘内加藤清正公忠廣公遺蹟顕彰会会長など。櫛引地域振興懇談会委員として、当事業全般や地域の振興策に様々な観点から提言。櫛引地域のほとんどの事業に関わる。



勝木 正人さん

手向地区自治振興会会長、出羽三山魅力発信協議会会長など。平成26年9月に手向地区自治振興会を立ち上げ会長となる。手向まちなみ委員会では、住民の代表として、手向らしい門前町の景観づくりという観点から発言。



井上 夏さん

Hisu花ワークショップリーダー、井上農場経理・ポン菓子製造部長など。持ち前の明るさと行動力で幅広いネットワークを持ち、全国に米や農産加工品を販売する井上農場を支えている。酒田市出身。



佐藤 祥子さん

加茂地区自治振興会事務局。加茂ビジョンの実施に際し、自然・産業・環境・教育・歴史の各チームをサポート。昨年は、歴史チームが取り組んできた日本遺産「北前船寄港地」の認定にも尽力。市内大山出身。

地域経済が循環していく仕組みを作る
ことが必要だと考えています。

佐藤 今年度、これからのまちづくりの方針となる加茂ビジョンを完成させました。これに加茂でやりたいことの全てが盛り込まれています。以前はコミュニティセンターの職員が先頭になつて地域のことを考え、地域の方の思いはあまり反映されていなかったという状況でした。それが、ビジョン策定に取り組んだことをきっかけに、地域の方々が「自分たちはこういう地域に住みたいんだ」という提案をするようになり、私たちコミュニティセンターの職員がそれをフォローするということ、これまでとは正反対の関係になったんです。そしてこの一冊ができました。

それから、加茂に何百年も伝わる泊町大黒舞の継承にも力を入れています。この大黒舞は、大黒様と恵比寿様が2人で舞う珍しいもので、失われてしまうことは地域としても大きな痛手になるんじゃないかと考え、若者に声を掛け後継者の育成をスタートさせました。**市長** この地域まちづくり未来事業という制度には、まだまだ進化、改良の余地があると思っています。皆さんからいくつか出たキーワードで言うところ「観光」がその一つです。できれば子供の数が減らずに、人口が増えていくことが理想的ですが、すぐにそれを実現することは容易ではありません。できることから取り組むことが重要です。

まずは来て、体験して、食べて、泊まってもらうなど観光・交流人口を増やしていく。それは比較的取り組みやすいところだと思いますし、各地域に素材はたくさんあるわけです。大事なものはどうやってそこにつながる仕組みを作っていくのか。

それぞれの地域で、課題を明確にし方向性を定めたビジョンを作るなど、熱意を持つてまちづくりに取り組んでいただいています。これはすごいことだと思います。行政主導で働き掛けたとしてもこうはなりません。やはり自分の住んでいる地域が好きだから何とかしたいという思いが根底にあるのだと思います。改めて各地域で個性的な活動が展開されていると感じました。

順調に進まないこともある

司会 取り組んでいる中で様々な悩みや苦労したこと、また、今後の課題などありましたら聞かせてください。

井上 Hisu花のワークショップには70代から私よりちよつと若い子たちまで幅広い年代が参加しています。実行委員は20人いますが、実際に動けるのは半分くらいで、しかも若い人が少ないんですね。私は経理が仕事で農作業の現場には行かないからできてくるというのがあると思っていますが、皆さん仕事で忙しく、限られた時間で会議などをするので、参加できる人が少



皆川 治

鶴岡市長。旧鶴岡市と旧町村が共に発展するまちの実現のため、「地域まちづくり未来基金」を創設。

【司会】
鶴岡市企画部長
阿部 真一



五十嵐 丈さん

羽越のデザイン企業組合副理事長、自然体験温海コーディネット・観光コーディネーター。大学生時代に福栄地区の地域活性化推進員として学業と地域づくりを両立。地元をこよなく愛し、大学卒業後地元就職。



小野寺 学さん

(株)月山あさひ振興公社支配人、あさひむら観光協会事務局長など。道の駅「月山」月山あさひ博物館の魅力向上のため、施設改修を行い、自らの発案でボルダリング設備を整備。昨年から道の駅駅長も務める。



藤島

今年度の「Hisu花deないと」では音楽フェスも開催し大盛況



羽黒

手向地区固有の歴史的景観を生かそうと黒板塀を塗り替え



櫛引

黒川能の保存伝承の一環で体験用楽器を購入し展示

ないんです。イルミネーションの点灯式イベントでも、やはり若い人たちの力が必要だと感じました。

勝木 羽黒山はここ2年すぐたくさんの人が来ていますが、門前町の方にはあまり来ていません。五重塔を見て山頂を見て終わり。それを何とか門前町の方に向かせたいと考えています。買い物ができるお店などを作らなければいけないと思ってるんですが、特に商売事になるとなかなかうまくいきません。

ですが、地域の人たちが人口減少をどうにかしようという機運が出てきている面もあります。それはホテル祭り。7月の初めに大人から子供までみんなで螢を見に行くんです。今まで3回や

って螢が見られたのは今年の1回だけですが、最近螢を見たことがないからみんなうれしくなるんですね。見ることもできなかつたときでも、その後は必ず直会なほらいをして盛り上がりします。子供たちにそういった経験をさせることが、地域に対する愛着につながるのではないかなと思っています。

小林 活動で苦労していることは、検討を進めていくと確実にぶつかると、将来の人口減少、担い手不足という点です。何とか事業を拡大基調に持つていきたいと思うのですが、それを将来誰がやるのかとなるとそこでストップしてしまふのです。現状のままでは、産業経済活動の縮小や伝統文化、芸術活動の衰退が懸念されます。

全国津々浦々同じことに困っていると思いますので、鶴岡市がうまい仕組み・仕掛けを作ることができれば、全国のまちづくりの手本になるのではないかなと思います。

小野寺 観光バス事業は、泡滝線と七ツ滝線の2路線で実施しました。泡滝線は登山者や地域住民、七ツ滝線は観光客の利用が多く、2か月間だけでしたが実施できたことは大きかったですね。秋には七ツ滝の紅葉がとてきれいに見られますので、観光客の利用も考えて今後は期間の延長ができれば良いと思っています。

そして、食と六十里越街道トレッキング連携事業は、今年度で3年目となりますが、初めて旅行代理店での商品

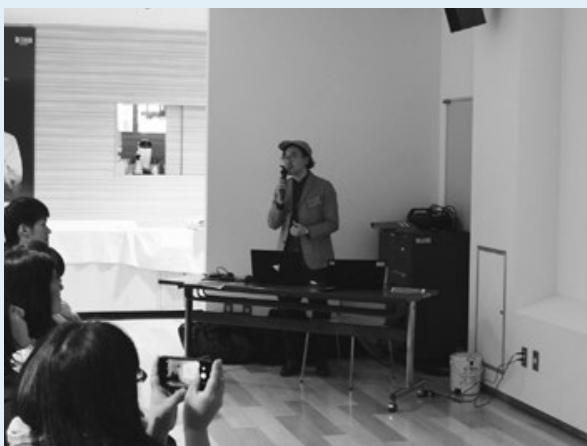
化が実現しました。しかし、参加者の募集から催行までの難しさを実感した1年でした。六十里越街道を歩くことができるのは5月中旬〜11月上旬とシーズンが限られています。短期間で企画準備から催行を実現させることができれば、商品の魅力をよりたくさんの人に伝えられると思っています。

五十嵐 自然体験温海コーディネートは、始めに目的をお話ししたとおり、ただ体験を提供するだけではありません。次の世代につないでいくためにも、体験のインストラクターを地元の方にも協力をいただき、ボランティアではなく、きちんと報酬を支払う形をとっています。先ほど担い手不足の話がありました。気がちただけで継続させて



朝日

夏季限定で実施した観光バスは多くの登山客等が利用



温海

「関川しなの木と花・郷フォーラム」で講演する五十嵐さん



鶴岡

泊町大黒舞保存会の新会員になった若者に対し舞いの動作を講習

いくのは非常に難しいです。小さくても仕事として受けられるようになれば、若い世代も協力でき、持続可能な方法で地域活動を続けていくことができると考えています。しかし、現状としては支払えている額は微々たるものです。活動の輪を大きくしていくことが今後の課題ですね。

また、若者に地元が好きだという気持ちはあっても、帰って来られないのは仕事がないことが大きい理由なんだと思うんですね。今は動画配信サービス等の娯楽関係は、どこにいても恩恵を受けられるようになってきているので、生活コストが少ない地方のメリットは高まってきています。地域経済にもお金が循環してくる仕組みを作る

ことで仕事ができれば、少なくとも私達の世代は帰って来るのではないかと考えています。
佐藤 ビジョンを策定して今後実際どう活用していくか、それをどう目に見えるような結果につなげるかが一番の問題かなと思っています。加茂の場合、水族館があつて、観光客が何十万人も来るんですが、地区には商工会も観光協会もありますが、その2つの役目は私たちがコミュニケーションセンターの職員2〜3人でやっています。正直なところ大変ではあるんですが、加茂地区はほかにも海・山・歴史など資源にとても恵まれているので、この材料をどううまく活用して地域に人を呼び込むかが今一番の課題ですね。

加茂地区の住民だけで解決できれば一番いいんですけど、それだけで解決できるようなことではないとも思っています。変なプライドを捨てて、加茂を好きと思っている住民以外の人の「加茂のために何かやってみたい」という気持ちを快く受け入れ、一緒に何かできたらいいなという考えに変わってきています。住民では気付かないこともあると思いますしね。
市長 地域に人材がいらない、外からも人が来ないという悩みや、商品を開発しても果たして売れるだろうか、ビジネスとして成り立つのかとなると踏み出せない。また、地域を何とかしたいというふるさと愛を持っていてもふだん別の仕事を抱えていると、地域活動

に行くのが難しいということは、共通する課題としてあると思います。
公共性・公益性はあるけれども、なかなか成り立たないということに行政が関わる意味があります。今日の皆さんの話を市役所自身もつと真剣に受け止める必要があります。地域に出てそういう実態を知る努力が必要です。地域まちづくり未来事業とともに、地域の悩み事に応えていくアドバイザー職員という仕組みも作りました。職員もそれなりの知識や経験がないと応援することができないので、経験豊富な人と若い人を組み合わせるの派遣も一つのパターンとして考えています。
地域の皆さんが悩んでいることに寄り添い、一緒になってその課題解決を



図っていくことができれば、一気にとはいかないまでも、悩みが少しずつ解消されていくのではないかと考えています。専門的な知識を持つ職員がたくさんいますし、地域とともに取り組むことで職員自身の成長にもつながります。

もつと魅力あるまちに

司会 課題を踏まえて、皆さんの活動がさらに前向きに進むためにはどうしたら良いと思いますか。

井上 私自身イルミネーションが地域に関わる初めての活動です。2年目ですが評判がとても良く、今後もずっと続けていきたいと思っています。実は資金が全くないうところからのスタートなので、どうやって協賛金を集めるかが課題でした。ところが、協賛を募ったらあつという間に広告の枠が埋まるくらい集まり、「もつと出したい」「もう粹ないの？」などと言われるほどでした。地域の人の、この地域のために協力したいという思いを感じる事ができました。

来年度はさらにみんなが喜ぶようなイベントにしたいと考えています。今回は2か月半の点灯ですが、県外からも見に来ていただいたり、インスタグラムなどのSNSに投稿してくれたりする方もいるので、冬といえば藤島のイルミネーションと言われるくらい盛

り上げていきたいと思っています。

勝木 市長が先ほど市役所職員から地域のことをもつと知ってほしいと言っていました。地域活動センターに1年間職員を出向させるのが一番手っ取り早いと思います。そうすることで地域のことを知ることができ、それに関わるセンターの職員の仕事量の多さなども分かると思うんですね。

市長 フルタイムでの出向となると難しい点があると思いますが、しっかりと交流し、情報共有するということは十分に考えられることです。職員が自分も地域の一員なんだという気持ちでともに活動している地域は元気な所が多いと感じています。

小林 私は櫛引地域に住んでいますが、ほかの地域について興味はあっても、詳しい活動内容についての情報はあまり入ってきません。今日の座談会のようにほかの地域で何をやっているかを知れば、競争をしたり、連携をしたり、また励まし合ったりということができて、市全体が活性化すると思いますので、こういう機会をこれからも作ってほしいと思います。

また、鶴岡には例えば、食文化創造都市や3つの日本遺産、サイエンスパークなど、それぞれの核ごとに歯車が非常によく回転し始めています。全国からも注目され、鶴岡は評価されていますが、それぞれの歯車がさらに連結して大きなうねりにすることが必要だ





と思います。それは市の中心部だけではなく、それぞれの伝統産業、伝統芸能など様々な魅力を持った周辺の地域も全部巻き込んだうねりになるような仕組み・仕掛けを作ってほしいです。

小野寺 私も朝日地域内だけではなく、柳引地域などと連携を密にしていこうとで様々な相乗効果が生まれると考えています。

実際に庄内管内の道の駅でイベントを同時開催していて、効果的な情報発信をすることで集客にもつながっています。周辺地域とコミュニケーションが取れたらもっと踏み込んだ取り組みができると思います。

五十嵐 活性化は重要ですが、それよりもゴールを定めることが重要だと思います。現時点よりもっと住みやすい環境へ移行する段階で活性化エネルギーが必要となるのですが、必死に活動する中で、いつの間にか活性化そのものが目的になっていることもありま。闇雲に活性化させようとするのではなく、在りたい形を明確にして、必要な仕組みを作り、ゴールを目指すことが重要だと思っています。

佐藤 五十嵐さんの言葉は本当にその通りだなと思います。加茂ビジョンもゴールを定めています。検討委員の人たちも常に「ゴール」と言っています。ワークシヨップでもゴールに向かって順調に進んだときは「またすぐ集まろう、話をしよう」となるくらい

エネルギーが高まって、私が置いてきぼりにされることもあるくらいです。ただチームによつては方向が定まらず止まってしまうこともあります。ですから自分は、満遍なく誰にでもフォローできるような立場でいたいと思っています。

地域の個性をさらに磨き上げる

司会 皆さんから様々なお話を聞かせていただきました。最後に市長から今日の座談会の感想をお願いします。

市長 今日は大人だけでお話をさせていただいたわけですが、魅力的なまちの実現に向けた活動が、子供たちに伝わっていくことがすごく大事なことでと思います。

それぞれの地域に個性、多様性がある中で、皆さんが様々な方法でその磨き上げに取り組んでいて、これだから参加してみたい、買ってみたい、泊まってみたいなど、新しい需要を作り出すような意欲的な活動が行われていると感じました。

6つの地域が合わさった鶴岡の良さは世界最先端のものとして必ず評価されると思います。本当に誇るべきまちだと思います。皆さんには最先端を行っているという意識で今後活動を展開していただきたいなと思います。

一同 ありがとうございます。

昨年はどうな1年でしたか？ここで鶴岡市の昨年の主な出来事を振り返ってみましょう。皆さんの思い出に残っている出来事はどれでしょうか。



▲世界バドミントンU15庄内国際招待2019を開催（6月29日・30日）



▲鶴岡東高校が夏の甲子園でベスト16に進出し、パブリックビューイングを開催（8月17日）



▲新潟県・庄内エリアデスティネーションキャンペーンを開催（10月1日～12月31日）



▲あつみ温泉が環境省の「国民保養温泉地」に指定（10月4日）



▲鶴岡第三中学校の改築事業完了を祝い、しゅん工式を挙行（11月2日）

27日 木古内町・鶴岡市姉妹都市盟約30周年記念式典を挙行

8月

- 1日 ジェットスター・ジャパン(株)により庄内空港－成田国際空港便が就航
- 6日 鶴岡市立農業経営者育成学校「SEADS（シーズ）」の第1期生募集を開始

9月

- 11日・12日 北前船寄港地フォーラムin庄内・山形を開催
- 28日 奥の細道紀行330年記念「奥の細道」羽黒山全国俳句大会を開催

10月

- 1日 消費税率が10%に改定
- 1日 「松ヶ岡開墾士住宅（新徴屋敷）」を日本遺産「サムライゆかりのシルク」のインフォメーションセンターとして開設
- 2日 新ブランド「庄内北前ガニ」初出荷
- 5日 JRの新観光列車「海里」が運行を開始
- 7日 東京オリンピック・パラリンピックでのモルドバ共和国の事前合宿が正式決定

8日 東京パラリンピックでのドイツ連邦共和国の事前合宿が正式決定

- 9日 ドイツ南シュヴァルツヴァルト自然公園協会との友好協定が10周年を迎え、さらに友好を深める協定書に調印
- 11日 本市が共生社会ホストタウンに登録
- 12日 台風19号が日本に上陸。市では避難所を39か所開設
- 18日 豊かな食の郷土づくり研究会を設立。第1回カンファレンスを開催

11月

- 7日 鶴岡市・鹿児島市兄弟都市盟約50周年記念式典に参加
- 9日 旧いこいの村庄内でチューリップの球根の定植作業を実施
- 22日 本市と山形日産自動車販売(株)・山形三菱自動車販売(株)が災害時に電動自動車両を無償で貸し出す協定を締結
- 27日 大荒一般廃棄物最終処分場整備工事の安全祈願祭を開催

12月

- 12日 本市と(株)野村総合研究所が連携活動に係る基本合意書を締結

鶴岡の2019年を振り返る



▲農業の人材育成・確保に関する協定を本市、山大農学部、東北芸術工科大学、JA鶴岡、JA庄内たがわ、ヤマガタデザイン株の6者で締結（1月24日）



▲天皇陛下の御即位及び皇太子殿下の御即位に際しての記帳所を設置（4月30日、5月1日）



▲天神祭に東京ディズニーリゾートスペシャルパレードが参加し、過去最高となる22万人の人出（5月25日）



▲「加茂港周辺の町並み」など5つの構成文化財が、日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」に追加認定（5月20日）



1月

- 21日 鶴岡市災害廃棄物処理計画を策定
- 25日 本市とヤフー(株)が災害時における情報発信の連携協定を締結

2月

- 25日 本市、日本たばこ産業(株)、下川生産森林組合、山形県が「JTの森鶴岡」第3期協定を締結

3月

- 1日 加茂水族館が「恋人の聖地」に認定
- 7日 下水道資源を活用し栽培した食材「じゅんかん育ち」を初めて学校給食に提供
- 22日 第2次鶴岡市総合計画を策定
- 23日 慶應義塾・山形県・鶴岡市による三者連携プロジェクトの第5期協定を締結
- 26日 鶴岡に中高一貫校が設置される方針が決定

4月

- 1日 羽黒第四地区地域活動センターが開所
- 1日 大網地区地域交流センターが開所
- 25日 消防本部が水陸両用車等を県内初配備・運用開始

5月

- 1日 元号が令和に
- 4日 加茂水族館リニューアル後の入館者数が300万人を突破
- 9日 海外の料理人が鶴岡の食文化を学ぶ研修プログラムを実施（～13日）
- 24日 江戸川区学童疎開75周年記念式典を挙行

6月

- 9日 鶴岡市・新島村友好盟約35周年記念式典に参加
- 17日 庄内スマート・テロワール（庄内自給圏）推進協議会が発足
- 18日 日本海山形県沖地震が発生。県内観測史上最大の震度6弱を観測

7月

- 1日 地震被害のあつみ温泉で全旅館が営業再開
- 1日 DEGAM鶴岡ツーリズムビューローが発足
- 17日 本市と昭和女子大学が地域社会の持続的な発展を目的とした連携協力に関する包括協定を締結
- 20日 朝日地域夏季観光バスの試験運行を開始
- 21日 参議院議員通常選挙
- 25日 本市と(株)阪急交通社が農業観光連携事業の推進に関する協定を締結

市政



第2次鶴岡市子ども読書活動推進計画 への意見公募(パブリックコメント)

■募集期間 1月4日④～24日⑤ 対
市内に在住または通勤・通学している
方及び市内に住所を有する法人 ■同
計画書の備え付け 市HPに掲載するほ
か、図書館本館及び各分館に設置 ■
提出方法 直接または郵送、ファクス、
電子メールで図書館本館及び各分館へ
図書館本館 ☎25・2525

男女共同参画推進懇談会 委員募集

鶴岡市男女共同参画計画に掲げた取
り組みの推進に当たり、意見や助言等
を頂く委員を公募します。

■男女共同参画の推進に意欲があり、
満20歳以上で市内に在住または勤務・
通学している方5人以内(国、地方自
治体の議員及び職員を除く) ■1月
24日⑤まで申込書を直接または郵送
ファクス、電子メールで本所政策企画
課 ☎内線526へ ■他申込書は市HPに
掲載するほか、本所総合案内及び各地
域庁舎に設置

公立保育園 保育士・看 護師等(臨時職員)募集

■募集職種 ①保育士 ②看護師 ③
保育補助(無資格可) ■募集人数 若

千名 ■1月14日④から履歴書と資格
証の写し(有資格の場合)をお持ちの
上、本所子育て推進課 ☎内線180へ

健康・福祉・医療



「はたちの献血」キャンペーン 誰かを思う誰かを救う。はたちの献血

病气やけが等で輸血を必要としてい
る患者の尊い命を救うため、医療現場
では毎日のように多くの輸血用血液が
使われています。血液は人工的に作る
ことができず、長期保存もできません。
また、若年層の献血者数が年々減少
傾向にあり、将来の安定供給に支障を
来す恐れがあります。成人を迎える「は
たち」の皆さんの献血に対するご理解
とご協力をお願いします。

■健康課(にこふる) ☎内線361
■献血実施日や場所等はHP

ウイルス性肝炎は感染による肝臓の病気です 肝炎ウイルス検査を受けましょう

次に当てはまる方や肝炎ウイルス検
査を受けていない方は検査を受けまし
よう。▽平成4年以前に輸血を受けた
▽大きな手術を受けた ▽フィブリン
ゲン製剤を投与された ▽臓器移植を
受けた ▽ボデイピアスをしている
▽健康診断等で肝機能の異常を指摘さ
れ、その後精密検査を受けていない
■2月1日④・6日④・15日④・18日④
■場内地区健康管理センター ■本市

に住民登録がある方で今年度中に40歳
になる方、または41歳以上で検査を受
けたことがない方 ■血液検査 費3
00円(40歳、70歳以上の方は無料)
■1月15日④まで健康課 ☎内線367
へ ■他生活保護・市民税非課税世帯の
方に減免制度あり(要事前申請)

集団健診の最終日程

■1月28日④、2月3日④・4日④・
12日④・17日④午後1時30分～2時30
分 ■場総合保健福祉センター(にこ
ふる) ■地域の集団健診を受けてい
ない方 ■特定健診、大腸がん検診、
呼吸器検診(肺がん・結核) ■健康
課 ☎内線366または各地域庁舎市民
福祉課へ

後期高齢者医療「医療費の お知らせ」の送付について

平成31年1月から令和元年10月まで
診療分の「医療費のお知らせ」が山形
県後期高齢者医療広域連合から1月下
旬に送付されます。

これまで年3回送付していましたが、
今年度から年1回の送付となります。
お知らせする内容は医療機関等から
広域連合へ請求された金額ですので、
必ず確認くださいようお願いします。
確定申告の際、この通知に掲載され
ていない診療分については、医療機関
等からの領収書に基づき作成した「医
療費控除の明細書」を添付する必要があります。

市長の

一筆入魂

(24)

民間の力を引き出す。行政が企業の
活動を事細かに指示する、一頃は箸の
上げ下げまでとやゆされた時代はとう
に過ぎ、いかに民間セクターに伸び
びと活躍してもらおうかが、地方の活
性化にとって益々重要になっている。今
年度から「毎日、おいしい。ここで、
暮らしたい。」のキャッチフレーズの
下に取り組んでいる新しい総合計画の
立案の際にも、いかに民間の投資をこ
の地域に引き出すのか、という視点を
重視した。市民や企業、NPOを含め
民間が活躍できる環境を整備する、必
要に応じ官民が連携してプロジェクト
を進めることが、地域が抱えている課
題を解決することにつながる。

令和元年12月市議会定例会では、鶴
岡市が関わる「官民連携」の二つの施設
について議論が行われた。一つは、キッ
ズドームソライ。子育て世代などか
ら、悪天候時や冬期間でも体を思いき
り動かして遊べる大型の屋内型児童遊
戯施設整備の要望があり、平成27年7
月頃から市役所と民間事業者の間で検
討が行われ、29年8月に整備着工、30年
11月に開業した施設だ。この施設の整
備・運営の方式、いわば官民連携の肝と
なる部分は、28年11月までの段階で、整
備費用(当施設の総工費は約12億円程
度)に対し、鶴岡市が2億円の補助を行
うことが決められ、運営は民間の責任
で行うことが事業の大枠となった。こ
うした児童向けの屋内施設の多くは自
治体の直営や指定管理で運営されてお
り、利用料は無料となっている。その

令和2年4月1日採用予定

荘内病院職員募集

☎荘内病院総務課 ☎26 - 5111内線6341

■募集職種・受験資格

- ▷ 診療放射線技師(短大卒程度) … 昭和60年4月2日以降に生まれ、診療放射線技師免許を取得している方及び令和2年4月までに取得見込みの方
- ▷ 看護師[助産師](短大卒程度) … 昭和50年4月2日以降に生まれ、看護師免許を取得している方及び令和2年4月までに取得見込みの方
※看護師免許と併せ助産師免許を取得している方及び令和2年4月までに取得見込みの方も募集。

■試験日時

2月9日⑩午前10時

■試験会場

同院

■申込み受付

▷ 1月6日⑩~24日⑤に申込書を同

- 院総務課へ(郵送の場合は24日までの消印有効)
- ▷ 市HP「電子申請」からも手続きができます
- 試験案内・申込書等の交付
- ▷ 同院総務課及び本所職員課で交付
- ▷ 郵送で請求する場合は、封筒の表に「試験案内請求」と朱書きし、140円分の切手を貼った返信用封筒(宛先を明記した角2号封筒。折り畳んでも構いません)、応募職種・連絡先を記入したメモを同封して、同院総務課(〒997-8515市内泉町4-20)へ
- ▷ 同院HP「職員募集」及び市HP「人事・職員採用」からダウンロードすることもできます



あります。確定申告等については鶴岡税務署または本所課税課にお問い合わせください。

☎山形県後期高齢者医療広域連合 ☎0237・84・7100、本所国保年金課 ☎内線126または各地域庁舎市民福祉課へ

子宮がん・乳がん検診を積極的に受けましょう

がんは医学の進歩により、早期に発

見すれば治る確率が高くなっています。症状が出ない初期のうちに検診でがんを発見することが重要です。

☎子宮がん検診：今年度20歳以上になる女性 乳がん検診：今年度40歳以上の偶数年齢になる女性(人間ドック等で市が実施する検診を受けた方または受ける予定の方を除く) ⑩受診券

☎健康課 ☎内線366または各地域庁舎市民福祉課へ ⑩他生活保護・市民税非課税世帯の方に減免制度あり(要事

前申請)

介護保険事業計画等策定のための調査にご協力ください

介護保険制度では3年ごとに介護保険事業計画を策定し、介護サービスの必要見込み量や介護保険料等を見直しています。令和3年度〜5年度を計画期間とする第8期同計画の策定に向け、地域の課題や必要なサービスを把握・分析するため、1月〜3月に「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」と「在宅介護実態調査」を実施します。調査票が届いた際はご協力をお願いします。☎本所長寿介護課 ☎内線190

税・年金



市税等の滞納処分として差し押さえた動産のインターネット公表

■公表方法 Yahoo!官公庁オークションのシステムを利用した競り売り

■参加申込み 1月7日⑩午後1時〜21日⑩午後11時

■公表期間 1月27日⑩午後1時〜29日⑩午後11時

☎本所納税課 ☎内線216 ⑩他市HP。滞納税が納められた場合に、中止になる動産あり

固定資産税に関する申告はお早目に(申告は1月6日⑩から)

▼償却資産の申告 ⑩事業を営んでいる個人や法人で、毎年1月1日現在で

代わり、その施設運営には公費(県内では概ね8千万円から1億円)が投入されている。それに対してソライは有料。運営する民間事業者は、既に経営と社会的影響の見通しの甘さを認めているが、他方で児童向けのこの種の施設の性格から、民間事業者のみで事業を成立させることはそもそも困難だったのだ。つまり、制度設計の時点で運営面での官民連携(公費投入)が必要であり、その点が欠落した状態で事業の大枠が決まったことが、今日の施設の収支、経営の問題の要因である。

もう一つは、平成29年7月にマリカ東館に開設されたフーデヴァー。食文化創造都市の情報発信拠点として官民が連携し、経済産業省の補助金も投入され整備された施設だ。行政と民間双方に商業ベースでの需要見通しの甘さがあり、民間事業者の収益性などに根本的な問題が生じている。こちらも既に民間事業者は責任を認めており、市の対応を含め課題が生じることとなった原因を究明していく必要がある。

ソライ、フーデヴァーという二つの施設については、設置の目的や運営状況が異なり、一括して議論することが適切なのかというところはあるが、民間が設置・運営し、市などの行政が設置に関する補助等をしているという点で共通している。端的に言えば、二つの施設ともに、その整備・運営をデザインする時点での意思決定過程、制度設計に問題があったのだ。

民間側の経営責任が問われることは当然である。その上で官民連携による制度設計に問題があったことも明らかであり、その責任を明確にすることが求められている。引き継いだ重い宿題に逃げずに向き合っていく。

皆川 治

償却資産を所有する方（申告書送付済み。eLTAX（地方税電子申告システム）で申告している方にはお知らせを送信） 他市HP。申告書が届いていない場合でも申告すべき資産を所有している方は申告が必要

▼土地・家屋利用状況の変更の申告
 平成31年（令和元年）中に、▽建物を解体した方 ▽非住宅用地（更地を含む）の宅地に住宅を建築した方 ▽前年までに農地の土地を購入し造成した宅地に住宅を建築した方 ▽火災・天災等で住宅が滅失または損壊するなどやむを得ない事情でその宅地を住宅用地として利用できない方 ▽土地・家屋の用途を変更した方

▼転作等による地目変更の申告
 果樹などの永年性作物に転換した田▽かんがい、たん水設備がなく用水できない状態の田

▼認定長期優良住宅の新築軽減措置の申告
 平成31年（令和元年）中に新築した認定長期優良住宅

▼共通
 ■申告期限 1月31日
 ● 図
 ・ 図
 償却資産の申告：本所課税課内線245
 その他の申告：同課内線209

給与支払報告書の提出に当たってのお願い（令和元年中支払分）

提出には個人番号または法人番号の記載が必要です。また、支払者が個人事業主の場合は、事業主の個人番号確認書類と身元確認書類の提示または添

付が必要です。1月31日までに本所課税課内線201へ。

令和2年度の市・県民税申告書をお送りします

1月下旬 年金・給与以外の所得がある申告義務者、所得確認が必要な方 図本所課税課内線243 他各種控除を追加したい方は、個別に申告書をお送りしますので同課に連絡してください

高齢年金を受給している方へ

1月下旬以降に、令和元年分公的年金等の源泉徴収票を順次送付しますので、内容をご確認ください。

図鶴岡年金事務所 23・5040、本所国保年金課内線113または各地域庁舎市民福祉課へ

生活・その他



灯油の購入に助成します

令和元年11月1日現在で本市に住民登録があり、世帯の全員が令和元年度市民税非課税で、次のいずれかに該当する世帯（社会福祉施設等入所者、長期入院者、生活保護世帯等を除く）

- ①65歳以上（昭和30年4月1日以前生まれ）の高齢者のみで構成される世帯（単身世帯含む）
- ②重度要介護者（要

介護4または5の認定を受けている方）がいる世帯 ③重度障害者（身体障害者手帳1・2級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級を所持する方）がいる世帯 ④ひとり親世帯（18歳未満（平成13年4月2日以降生まれ）の子を養育している母子・父子家庭、または両親のいない家庭等）

■助成額 1世帯5,000円 申1月15日～3月13日に本所福祉課内線272、本所長寿介護課内線150または各地域庁舎市民福祉課へ 他該当すると思われる世帯へ1月中旬に申請書を送付します

市営住宅等入居者募集

朝日 藤島	鶴岡							住宅名	間取り等	戸数
	朝日	藤島	大山住宅	みどり住宅	稲生住宅	美原住宅	ちわら住宅			
下名川住宅	ふじなみ住宅	3階・2DK	2階・3DK	4階・2LDK	2階・2LDK	(子育て向け)	3DK	(子育て向け)	3	
木造2階建2階・3LDK	木造平屋・3LDK (子育て向け)	3階・3DK	2階・3DK	3階・2LDK	2階・2LDK		2階・2DK			
1	1	1	1	1	1		1			

入居時期 3月中旬以降 申1月6

文化財を火災から守ろう

1月26日は文化財防火デーです。昭和24年のこの日、奈良県法隆寺の金堂から出火し、国宝の壁画が焼失しました。国民共通の貴重な財産である文化財を火災、震災などの災害から守るため、全国的に文化財の防火運動が展開されます。地域ぐるみで文化財を災害から守りましょう。

2020年農林業センサスにご協力ください

この調査は、2月1日現在で全ての農林業関係者を対象に行われる「農林業の国勢調査」とも言うべき重要な調査です。対象者に調査員が訪問し、調査票に経営状況などの記入をお願いしますのでご協力をお願いします。

宝くじの助成金で整備しました

一般財団法人自治総合センターの宝くじ社会貢献広報事業で整備しました。▼地域防災組織育成助成事業 携帯無線機一式（鶴岡市藤島地区自治振興会） 図藤島庁舎総務企画課64・5812

第3子等の学校給食費無償化

問 学校教育課（櫛引庁舎） ☎57 - 4865

市では、子育て世帯の経済的な負担軽減を図るため、3人目以降のお子さんの学校給食費に対する無償化事業を行っています。該当する方は申請が必要です。申請書は入学説明会の案内と一緒に配布します。

■対象者

- 市内に住民登録があり、次の全てに該当する保護者
- ① 4月1日において、6歳（小学1年生）から18歳（高校3年生）までの子を3人以上養育している
- ② 養育している18歳未満の子を年長順に数えて、3人目以降の子の住民登録が市内にある
- ③ 生活保護、就学援助等の公的扶助を受けていない

■申込み

入学を予定する小学校の入学説明会時に各校へ（最終締切日は2月25日㊟）

現在、小・中学校に在学するお子さんがいる家庭で既に認定されている方は申請の必要はありません。

朝日地域振興カレンダー広告募集

問 朝日庁舎総務企画課 ☎内線305

来年度の朝日地域振興カレンダーに有料広告を掲載する事業者等を募集します。

■カレンダー規格

B2判（表面に4月～9月を、裏面に10月～来年3月を掲載）

■発行部数

1,300部（同地域全戸及び公共施設等に配布）

■広告企画・募集数・掲載料（1枠当たり）

- ① 日付欄（縦32mm×横33mm）
47枠・1,000円
- ② 日付欄外（縦140mm×横110mm）
2枠・1万円

■申込み

鶴岡市広告掲載要綱、鶴岡市朝日地域振興カレンダー広告掲載要領を確認の上、1月24日㊟まで広告掲載申込書（関係書類を添付）を同課へ

■その他

広告掲載の決定後、指定する期日まで広告原稿（電

子データの場合はJPEG形式またはGIF形式。作成及びその費用は広告主負担）を提出してください。詳細は市HPでご確認ください



令和元年度同カレンダー

市ホームページ有料広告募集

問 本所総務課 ☎内線317

ホームページをお持ちの企業、事業所の皆さん、市ホームページのトップページに「バナー広告」を掲載して事業をPRしませんか。市ホームページのトップページは、平成30年10月～令和元年11月の間で、月平均約5万8,000件のアクセスがあります。

■掲載箇所

市ホームページのトップページ下部

■規格

縦40ピクセル×横170ピクセル、GIF（アニメーションは不可）またはJPEG、10キロバイト以内

■掲載期間

原則、月の初日～末日の1か月単位（最長12か月）

■掲載料（1枠当たり）

月額1万円

■申込み

鶴岡市広告掲載要綱、鶴岡市ホームページ広告掲載要領を確認の上、掲載開始希望日の1か月前までに広告掲載申込書（関係書類を添付）を同課へ

■その他

市HP。バナーの作成及びその費用は広告主の負担です



掲載箇所

まちのできごと



ほっと

トピックス



<東田川文化記念館>

藤島 ナリワイトーク&マルシェ 真冬のセタ大作戦 ～楽しさを真ん中に！脱シガラミで2020年の目標づくり～

12.1

地域の課題を解決する小さなソーシャルビジネス「ナリワイ」の起業家の体験談を聞き、明日を楽しく生きる方法を参加者みんなで検討。そ

して、来年の抱負を短冊に書いて発表しました。会場ではナリワイにより生み出された商品のマルシェも開催され多くの人でにぎわいました。



<荘銀タクト鶴岡>

鶴岡 シルクノチカラ —日本遺産がつなぐ、伝統と革新のTsuruokaのミライ

11.23

シルクをテーマに創造的に活動する若い人を応援しようと初開催。鶴岡工業高校・鶴岡中央高校・鶴岡高専の発表、東北芸術工科大学学長中

山ダイスケ氏とスパイバー(株)関山和秀氏の対談、10周年となるシルクガールズコレクションを通しシルクの魅力と可能性を体感しました。



<中央公民館>

鶴岡 サークル共催講座 手作り木版画で年賀状を作ろう!

11.23
~
27

縁起物や正月の風物などの絵柄を彫って、一枚一枚丁寧に刷ったら完成です。お世話になった人に心を込めて送りました。



<大荒地内>

鶴岡 大荒一般廃棄物最終処分場整備工事安全祈願祭

11.27

令和4年度に供用開始を予定する、ごみの焼却灰などを埋め立てる施設。くわ入れ等を行って工事の安全を願いました。



<大岩川地内>

温海 あつみ小学校 焼畑あつみかぶ収穫・漬込み体験

11.27

8月に種まきをして大きく育ったカブを収穫。先生になった児童の祖父母から、かぶ漬けのおいしい作り方を学びました。



<丸岡コミュニティセンター>

樽引 丸岡城跡鯉もち祭り

12.1

コイの身をほぐしてつゆ餅にした郷土料理。加藤清正公の嫡男忠廣公に献上したとされる伝統の味を楽しみました。



<産直あさひ・グー>

朝日 大鳥地区伝統料理「すし」講習会

12.1

塩出した魚の切り身と米・こうじを漬け込む冬の保存食「なれずし」。参加者は味付けのこつ等を真剣に聞いていました。



<つるおか食文化市場FOODEVER(フーデヴァー)>

鶴岡 鶴岡ホストタウン推進事業 モルドバワインミニ講座

12.13

モルドバ共和国出身の食品輸入販売会社代表を講師に迎え、特産品のワインを味わいながら、同国への理解を深めました。

つるおか 情報掲示板



注)掲載情報の詳細は、問合せ・申込み先に問い合わせるか、ホームページ等で確認してください。費がないものは原則無料。申があるものは事前の申込みが必要です。

■掲載を希望する方は…本所総務課 ☎内線316へ
掲載依頼締切日は発行月の前々月25日です。掲載対象は発行月の4日以降の催し等です。市内で開催され対象となる市民が多いものを基本的に優先。編集の都合上、掲載できない場合もあります。掲載することが不適当と市が認めるものは掲載できません。

催し



企画展「今井繁三郎と庄内を描いた画家たち〜この村庄内コレクション展〜」

日 3月22日⑩までの午前10時〜午後5時
場・閩酒田海洋センター ☎0234・26・5642

中央公民館 新春文化展

日 1月11日⑩〜14日⑩午前10時〜午後4時(14日は午後3時まで) 内写真、絵画、俳句、木版画、ちぎり絵等の展示
場・閩同館 ☎25・1050 他11日は抹茶、12日は煎茶のサービス(時

午前10時 定各日先着150人)

鶴岡アートフォーラム第4期常設展示 色と視覚

日 1月5日⑩〜3月29日⑩午前9時〜午後5時30分 内市所蔵美術作品の展示
場・閩同館 ☎29・0260

鶴岡市消防出初式

日 1月11日⑩午前10時 場市役所本所前 内まとい振り、消防団員・消防車の分列行進 閩消防本部警防課 ☎22・8320 他午前9時50分〜11時の間、県道47号線市役所本所前・鶴岡商工会議所周辺・鶴岡橋通行止め。バス経路の一部変更については庄内交通 ☎22・2600へ

しゃりん寒鰯まつり

日 1月12日⑩午前10時(売り切れ次第終了) 内鼠ヶ関漁港水揚げの鰯を使用した寒鰯汁(600円、限定500食)、魚介類の販売 場・閩道の駅「あつみ」しゃりん ☎44・3211

奥山知寿子さんセミナー プロに学ぶ モノゴトの伝え方セミナー

日 1月12日⑩午後3時、13日⑩午前10時30分 場勤労者会館 定15人 内話し方の基礎からプロに通じる上級編まで(90分×4コマ) 費8,000円 申鶴岡にFM局をつくらう!プロジェクト

クト

山の「ごっつおまつり

日 1月12日⑩午前10時30分〜午後2時 内ごっつお1皿100円のバイキング 場・閩産直あさひ・グリー ☎58・1455

鶴岡市新春囲碁大会

日 1月13日⑩午前10時 場勤労者会館 対Aクラス:4段以上 Bクラス:3段以下

奥山知寿子さん講演会 わたしは「伝える人」

日 1月13日⑩午後3時 場勤労者会館 費500円 閩鶴岡にFM局をつくらう!プロジェクト

致道博物館 民家の「火焚き」

日 1月中旬〜3月上旬午前9時〜午後4時 内国指定重要文化財旧渋谷家住宅の屋根のいぶり出し 費大人:800円 学生:400円 小・中学生:300円 場・閩同館 ☎22・1199

中央公民館プラネタリウム

日・内①1月14日⑩・24日⑩午後1時30分、19日⑩・25日⑩午後3時:『銀

河鉄道999 赤い星ベテルギウス

いのちの輝き』②19日⑩・25日⑩午前11時、午後1時30分:『それいけ!アンパンマン』星の色と空の色』

定各回先着78人 費3歳以上:100円 高校生以上:200円 場・閩同館 ☎25・1050

温海旬御膳 冬の「ごっつおめぐり」

日 1月17日⑩〜2月29日⑩(3日前まで要予約) 場あつみ温泉各旅館、温海地域内実店舗 費3,000円・4,000円・5,000円(実店舗で異なる。旅館は入浴料込み) 閩あつみ観光協会 ☎43・3547 他HP

地域定住農業者育成コンソーシアム一般公開講座

日 1月17日⑩午後1時30分 場酒田勤労者福祉センター 内「やまがた食と農のビジネスの戦略的販路開拓」牧野聡氏(企業組合かほくイタリア野菜研究会理事) 閩山々農学部内「同コンソーシアム」事務局 ☎070・2011・5615

たらのきだいたいスキー場 ファン感謝デー

日 1月18日⑩午前9時〜午後9時 場同スキー場 内リフト無料解放、甘酒振る舞い、銀世界屋台村、ゲームイベント等 閩同スキー場 ☎57・5470 または櫛引庁舎産業建設課 ☎57・21

15へ

風邪に負けない身体を作る料理教室

日1月18日④午前10時30分 定16人
産直の野菜を使った薬剤師・食育インストラクター・管理栄養士監修レシピで料理 費800円 場・申1月5日④からふじしま市場たわらや⑥64・3093へ

音楽の夕べ あなたとクラゲと音楽と

日1月18日④午後6時 出 神雅氣・shinki・費高校生以上：1,000円 中学生以下：500円
場・岡加茂水族館③・3036 他年間パスポートをお持ちの方は無料・優先入場

大鳥の現役猟師とウサギの巻狩りを体験しよう!

日1月19日④午前9時30分 対小学生以上20人 内ウサギの巻狩り、ウサギ汁 費大人：2,000円 中学生以下：1,000円 場・申1月14日④まで大鳥自然の家⑤5・2946へ 他無料送迎バス運行(市役所本所発着)

寒そばまつり

日1月19日④〜2月29日④の午前11時〜午後4時30分 内十割そば・豚しゃぶ鍋・天ぷら・小鉢 費1,500円

(当日は100円増し) 場・岡そば処 大梵字⑤3・3413

「雪の降るまちを」 鶴岡冬まつり

▼日本海寒鱈まつり 日1月19日④午前10時30分〜午後3時 場鶴岡銀座商店街 内鱈汁販売(600円)、新潟・北茨城・秋田など交流都市の観光物産展 岡同商店街振興組合⑥22・2202

2 ▼鶴岡音楽祭2020 日1月26日④午後2時 場荘銀タクト鶴岡 出 中田幸子氏(故中田喜直氏夫人)、黒田祐貴氏、工藤俊幸氏、山形交響楽団、斎小学校ミュージックベル隊、鶴岡土曜会混声合唱団、鶴岡市合唱連盟ほか 費大人：2,000円 高校生以下：1,000円 岡本所観光物産課⑥内線545

▼大山新酒・酒蔵まつり 日2月8日④ ▼大山四蔵元厳選八種飲み比べ 時午前10時〜正午 場大山コミュニティセンター 費1,500円 ▼酒蔵めぐり 時正午〜午後4時 場各酒造メーカー 費1,600円(当日は400円増し) ▼大山新酒を楽しむ会 時午後1時30分〜3時30分 場同センター 費3,500円 ▼共通 岡出羽商工会本所⑥33・2117

▼鶴岡市合唱祭 日2月23日④午後2時 場荘銀タクト鶴岡 費3000円 内鶴岡市合唱連盟⑥25・0779 ▼金峯山雪灯籠祭 日2月27日④午後

6時〜9時 場金峯山中の宮 内雪灯籠点火式、伝統芸能上演 費中学生以上500円 岡金峯神社⑥23・7863 他シャトルバス運行(黄金コミュニティ防災センター発着)

新春キジ汁まつり

日1月19日④午前11時〜午後2時 場月山あさひ博物館 内前売り券1,200円 岡株月山あさひ振興公社⑥53・3411 他餅の振る舞い(正午)

地域企業参加型 鶴岡高専 専攻科生研究発表会

日1月22日④午後4時10分 場庄内産業振興センター 内ポスターセッション(地域企業との議論) 申同校⑥25・9453

おいしい鶴岡食の映画祭

日1月24日④〜30日④ 場鶴岡まちなかキネマ 内期間中：食に関する映画上映(3作品(各1,000円。当日は200円増し)) 25日④・26日④：映画と食を楽しむイベント(別途料金) 申同キネマ内「つるおか食文化映画祭実行委員会」事務局⑥35・1228 他HP

発掘「ちよつと昔の16ミリ映画会」 おとなのための名画館

日1月24日④午後2時30分 定先着30

人 内「子どもの友情」『君は素晴らし』 場・岡中央公民館⑥25・1050

「雷」を総合的に楽しく学ぶ 雷サミット19

日1月25日④午後1時30分 場先端研究産業支援センター 内講演、雷写真コンテスト、雷俳句・川柳コンテスト受賞者発表、雷音頭の披露、雷クイズ、雷スイーツ販売、防雷グッズ・雷写真コンテスト受賞作品等展示 申1月22日④まで本所地域振興課⑥内線522へ 他市HP

リサイクルプラザ リサイクル体験教室

日1月31日④、2月7日④午後1時30分 定各日先着10人 内空びんと廃油を利用したエコキャンドル作り 場・申同館⑥35・3557

大鳥自然の家 山里の雪あそび体験

日2月2日④午前10時 定20人 内雪の滑り台、スノーラフティング、餅つき等 費500円 場・申1月29日④まで同館⑤5・2946へ 他無料送迎バス運行(市役所本所発着)

2020米づくりフォーラムin庄内

日2月5日④午後1時30分 場いろり火の里の花ホール(三川町) 内米

づくりに関する講演 申1月31日(金)まで庄内総合支庁農業技術普及課(64・2103)へ

鶴岡養護学校
中学部きてーねバザー

申2月7日(金)午前11時～11時50分 内容 中学部作業班の製品を販売 場・問同校(24・5995)

つるおか「森の時間」

申2月9日(土)午前8時30分～午後3時(市役所本所集合) 場朝日地域 定先着20人 内容ウサギの巻狩り体験等 費1,000円 申1月6日(月)～17日(金)に本所環境課(内線708)へ 他天候によって内容変更

健康・スポーツ



午前11時から餅つきがあります
新春初泳ぎ市民プール無料開放

申1月4日(土)午前10時～正午、午後1時～4時 内容鶴岡水泳育成協会(22・0074) 他夜間の一般開放は休み。幼児は高校生以上の付添いが必要

精神障がい者家族教室

申1月17日(金)午後1時30分 場庄内総合支庁(三川町) 内容精神障害者の家族20人 内容講演「統合失調症 家族の

コミュニケーション」木村智則氏(県立こころの医療センター臨床心理士)、情報提供「家族会の活動について」梅津成夫氏(おやこ草の会代表)、フリートーク 申1月10日(金)まで庄内保健所(66・4931)へ

つるおか健康塾

申1月18日(土)午後1時30分 場荘内病院 内容鶴岡連携研究拠点で行っているがんのメタボローム研究「牧野嶋秀樹氏(国立がん研究センター)がんメタボロミクス研究室医師)、「身体の活力の低下を防ぎたいならフレイル予防が鍵」瀬尾利加子氏(株瀬尾医療連携事務所代表) 申同院内緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川(26・5180)

慶應義塾大学からだ健康大学
認知機能向上を目指そう。口腔ケア編(全2回)

内容・場・師講義編：1月22日(土)午後1時30分・致道ライブラリー・竹屋静枝氏(武田歯科医院) 調理編：2月14日(金)午前10時・中央公民館女性センター・中野律氏(DRY and PEACE 乾物ミライスト) 定16人 費5000円 申1月17日(金)まで慶應義塾大学からだ館(29・0806)へ

鶴岡市朝日学童スキー大会

申1月26日(土)午前8時50分 場湯殿山スキー場 内容市内の小学5年・6年生

で校長の許可を得た児童(保護者の引率必要) 内容 回転、大回転(どちらか1種目への出場も可) 申1月6日(土)まであさひ小(53・2028)へ 他荒天時は中止

オール田川卓球大会

申2月2日(土)午前9時 場小真木原総合体育館 内容・内容 男女シングル(小学生以上) 内容予選リーグ・決勝トーナメント 問鶴岡卓球協会 他HP

氷上綱引き大会
参加チーム募集

申2月2日(土)午前10時 場小真木原スケート場 内容一般の部(中学生以上、男女混合)・ジュニアの部(小学3年～6年生、中学生以上の女性) 各1チーム5人 費1チーム5000円 申1月27日(土)正午まで鶴岡市体育協会(25・8131)へ

鶴岡市通いの場活動報告会
集えば変わる、私も地域も

申2月7日(金)午後1時30分 場出羽庄内国際村 内容講演「これからの地域づくり戦略と地域共生社会づくりについて」三森雅之氏(厚生労働省老健局振興課)、通いの場活動発表(海老島町お茶のみサロン(第一学区)、えきまえケヤキ・サロン(藤島地域)、猫の手(櫛引地域) 申1月31日(金)まで本

所地域包括ケア推進室(内線707)へ

中央公民館 短期青年講座
Nandoeroフィットネス

申2月3日・10日・17日、3月2日・9日の月曜日午後7時 場総合保健福祉センター(にこふる) 内容18歳～40歳の方30人(市内に在住または勤務の方優先) 師澤田美佳氏(健康運動指導士) 費3,000円 申1月7日(土)～27日(土)に同館(25・1050)へ

月山ビジターセンター共催事業
こころ健「星山あき雪王かんじりオーク

申2月9日(土)午前8時30分(月山ビジターセンター集合(バス利用者は市役所本所に8時)) 内容深雪を歩くことができる方100人(小学生以下は保護者同伴) 内容雪景色の羽黒山旧参道を歩く(約4km) 費1,200円 持かんじき(貸出しは要予約)、スキー用ストック、箸等 申バス利用：1月27日(土)～2月4日(土)にスポーツ課(25・8131)へ 同センター集合：2月4日(土)まで同センター(62・4321)へ 他参加賞として休暇村庄内羽黒の入浴割引券あり

スポーツテーピングセミナー(全3回)

申2月9日(土)・23日(土)、3月1日(土)午後1時 場小真木原総合体育館 内容中学生以上先着20人 費大人：各回2,100円(テーピング代等) 高校生以下

：各回1、600円(同) 時はさみ、半袖、半ズボン等 申2月3日①まで 鶴岡市体育協会 ☎25・8131へ 他 HP

温海さくらマラソン大会 参加者募集

日4月19日①午前8時30分 場あつみ温泉街 対つばみ(2km)・さくら(5km)・あかかぶ(10km)・ハーフ(21km)コース合計先着1、400人 費大人：5、000円 小・中学生、高校生：1、500円 申専用振替用紙：1月24日①まで同用紙で入金 インターネット：2月14日①まで RUNETHPで申込み 閩同大会事務局 ☎070・6614・5030 他HP



子育て・子供向け



キッズドームソライ 放課後児童クラブ説明会

日1月11日・18日・25日、2月1日の土曜日午後5時 定各日25人 申HP 場・閩キッズドームソライ ☎26・8801 他4月開所予定

大山児童館 ワクワク冬の映画会

日1月18日① 時・閩午前10時30分：幼児向け 11時：小学生向け 場・閩

同館 ☎38・0260

中央児童館ひろっぴあ

▼伝承遊びく昭和の時代にタイムスリップ!? 日1月18日①午後2時～3時 内おじいさん・おばあさんから昔遊びを習う(竹とんぼ・ゴム鉄砲作り、お手玉遊び等)

▼ひろっぴあで雪遊び 日2月1日①午後2時～3時 内雪滑り台、色水で雪にお絵かき、雪中みかん探し等

まんまルーム1月の講座 「トイレトレーニング」

日1月21日①午前10時30分 師市立保育園長 場・閩同ルーム ☎24・5635

南部児童館みなつくる

▼冬のお化け屋敷脱出ゲーム 日1月25日①午後3時30分 場同館 内お化け屋敷から脱出しよう 他中学生・高校生のボランティア募集

▼自然体験活動「ウインタースポーツアドベンチャーin大鳥」 日2月2日①午前8時50分～午後4時(同館集合) 場大鳥自然の家 内スノーモービル体験、チューブ滑り等 費5000円

▼共通 対小学生先着15人 申1月7日①から同館 ☎64・1900へ

かるた遊びを通して環境を学ぼう 鶴岡市こども環境かるた大会

日2月2日①午前9時30分 場第三学区コミュニティセンター 対小学校低学年・中学年・高学年の部各1チーム2人(各部門10チーム) 内トーナメント 申1月23日①まで本所環境課内環境つるおか推進協議会 ☎内線719へ

子ども家庭支援センター 転入者のための子育て案内講座

日2月4日①午前10時 場第三学区コミュニティセンター 対未就学児がいる転入家庭の親子先着10組 申1月30日①まで子ども家庭支援センター(にこふる) ☎25・2741へ

ひとりの親家庭対象親子でウィンタースポーツ 湯殿山スキー場で親子スキー教室

日2月9日①午前8時30分～午後3時30分 場同スキー場 対小学生以上の子供がいるひとり親家庭10組(申込み多数の場合は初参加の方優先) 費1人5000円 申1月31日①まで本所子育て推進課 ☎内線150へ 他申込み時にスキーの経験、スキー道具レンタルの有無を連絡

鶴岡市民健康スポーツクラブ参加者募集 親子トランポピクス教室(全4回)

日2月9日・23日、3月8日・15日の日曜日午後1時 場小真木原総合体育

館 対年中～小学生とその保護者先着10組 費1組3、000円 申1月31日①まで同クラブ ☎25・8131へ

SOMPOボールゲーム ESTAin鶴岡

▼ボールであそぼう! 日3月7日①午前9時 対市内在住の年長～小学3年生とその保護者先着70組140人

▼キッズチャレンジ 日3月7日①午後1時 対市内在住の小学4年～6年生先着120人

施設の催し



月山ビジターセンター

▼初歩のスノーシュートレッキング 日1月12日①午前9時 場同センター 周辺 申1月10日①まで

▼スノーシュートレッキング 日1月18日① ②26日① ③2月1日① 時午前9時(同センター集合) 場①荒澤寺↓野口↓羽黒山開拓↓同センター ②同センター↓月山やすらぎの森↓起点 ③同センター↓旧参道↓休暇村庄内羽黒キャンプ場↓起点 申①1月16日①まで ②22日①まで ③29日①まで

▼共通 定各日先着25人 費1、500

老人福祉センター

0円 簡軽食等 毎月山ビジターセンター ☎62・4321 他荒天時は中止

▼編物サークル 日 1月7日・10日・14日・21日・24日・28日、2月4日・14日・18日・25日・28日の火曜・金曜日午前10時～午後3時

▼健康相談 日 1月9日・16日・23日・30日の木曜日午後1時30分

▼新年会 日 2月13日(金)午前9時30分～午後3時 内容、踊り等 費1、300円 申 2月3日(日)まで

▼共通 場・申同センター ☎24・0066

自然学習交流館ほとりあ

▼学習会 「ドイツの環境への取り組みから学ぶこと」2つの視察研修報告 日 1月12日(日)午後2時 内容「ドイツの環境行政、環境団体、森林環境教育(森の幼稚園)の取り組みについて 師伊藤慶也(鶴岡市環境課長)、富樫繁朋氏(自然体験温海コーディネーター事務局長)、佐藤奈美氏(三瀬保育園保育士)、上山剛司(同館学芸員)

▼自然観察会 「パンダガモと猛禽類を探そう!」 日 1月19日(日)午前9時 定15人 費200円 申要予約

▼ワークショップ 「絵本の読み聞かせと焼きマシュマロづくり」 日 1月26日(日)、2月1日(土)・8日(土)午前10時

11時

講座・講習会



出羽庄内国際村 外国語講座 3期講座(1月～3月)

▼今年の干支・ワークショップ「段ボール迷路 森のねずみの暮らし」 日 2月1日(土)・2日(日)・8日(土)・9日(日)午前10時、午後1時 内容お面を作って、森のねずみの暮らしを考えながら段ボール迷路をクリアしよう! 他協力金100円以上

▼共通 場・同館 ☎33・8693

▼中国語 日・費▽入門:1月9日～3月12日の毎週木曜日午後7時(全10回)・1万3、000円 ▽初級:1月10日～3月13日の毎週金曜日午後7時(全10回)・1万3、000円 ▽中級:1月11日～3月14日の毎週土曜日午後1時30分(全10回)・1万3、000円 ▽子どものための中国語講座:1月12日～3月15日の毎週日曜日午後4時(全10回)・5、000円 ▽朋友你好!(☆) : 木曜日午後7時、土曜日午後3時30分

▼ドイツ語 日・費▽始めようドイツ語講座(入門):1月21日～3月24日の火曜日午後7時(全8回)・1万400円

▼韓国語 日・費▽入門:1月21日～3月24日の火曜日午後7時30分(全9回)・1万1、700円 ▽初級:1月17日～3月20日の毎週金曜日午後7時(全10回)・1万3、000円 ▽韓国との出会い(☆) : 土曜日午後2時

▼英語 日・費▽初心者英会話:1月23日～3月19日の毎週木曜日午後7時(全9回)・1万1、700円 ▽レベルアップ中級英語:1月16日～3月12日の毎週木曜日午後7時(全9回)・1万1、700円 ▽かんばせーしょん喫茶店(☆) : 木曜日午後7時、土曜日午前11時30分

▼スペイン語 日▽アブレモス・エスパニョール(☆) : 毎週土曜日午後2時

▼フランス語 日▽ル・サロン(☆) : 木曜日午後7時

▼共通 場・申同館 ☎25・3600

他各講座(子どものための中国語講座を除く)受講者3人以上で開講。見学可(要申込み)。(☆)印はフリートーク型講座・チケット制(5回券2、500円、10回券4、500円)

鶴岡市郷土資料館 古文書解読講座(全3回)

日 1月11日・25日、2月1日の土曜日 午前10時 定40人 師本間勝喜氏(鶴岡市史編さん委員) 費500円 場 申図書館本館 ☎25・2525

新たな外国人材雇用セミナー

日 1月31日(金)午後2時 場ここふる

鶴岡アートフォーラム美術講座 由右工門ほつきをつくる

定50人 内容研修「外国人材活用における制度の概要」縮修二氏(山形県行政書士会会長)、外国人技能実習生受入れ事例の紹介 申 1月24日(金)まで本所 商工課 ☎内線560へ

日 2月2日(日)午後1時(午後0時10分同館集合(バス移動)) 場余目第四公民館(庄内町) 内容高校生以上の方先着16人 師由右工門ほつき伝承の会 費2、300円 申 1月4日(土)～24日(金)に鶴岡アートフォーラム ☎29・0260へ

女性センターの講座

▼女性のための就業支援パソコン講座(全13回) 日 2月3日～27日の月曜日 木曜日午前9時30分 場中央公民館

対市内、三川町、庄内町に在住の就職を希望する50歳台までの女性(両手で文字入力ができる方) 先着9人 師佐藤理沙氏(パソコンインストラクター)、原田智子氏(ハローワーク鶴岡) 費9、200円 他託児あり、就労セミナー(2月17日(日))

短期講座

▼伝えていきたい感謝と恵みの行事食や郷土の味 第6弾 鶴岡地域 日 2月7日(金)午前10時～午後1時 場同センター 対市内、三川町、庄内町に在住または勤務の方先着20人 師鶴岡市

食生活改善推進協議会鶴岡地域 費1、550円

男性料理教室

▼これが私の十八番(おはこ)〜洋食のすすめ 日2月13日(土)午前10時〜午後1時 場同センター 対市内、三川町、庄内町に在住または勤務の男性先着16人 師佐藤豊氏(洋食専門調理師) 費1、550円

アグリ21農業簿記パソコン講座 決算書・申告書作成講習会(全3回)

日2月5日(土)・12日(土)・19日(土)午後7時 定10人 費各日2、000円 場・申1月30日(土)までJA鶴岡農業振興センター内農業支援室 29・0455へ

婚活



鶴岡婚活物語

「あなたは私の婿になる」

日1月26日(土)午後3時 場東京第一ホテル鶴岡 対県内在住の25歳〜49歳の独身の男女各30人(男性は婿に入れる方) 費男性:4、000円 女性:4、500円 申1

月14日(土)まで鶴岡商工会議所青年部事務局 24・7711へ 他HP



J A庄内たがわふれあい交流会 Sweet Valentine Party

日2月1日(土)午後2時 場グラントエル・サン 対20歳以上の独身の男女各20人 費男性:4、000円 女性:1、500円 申1月20日(土)までJA庄内たがわ生活課 64・5834へ

募集・相談



令和2年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業募集

因豊かな森づくり活動、自然環境保全活動、森や自然との触れ合い活動等 申1月6日(土)〜2月6日(土)に庄内総合支庁森林整備課 66・5524へ 他令和2年度の予算成立が前提

荘銀タクト鶴岡 貸館の受付

▼5月小ホール・練習室・会議室等利用 日2月1日(土)から
▼6月小ホール・練習室・会議室等利用 日3月1日(土)から
▼7月小ホール・練習室・会議室等利用 日4月1日(土)から
▼8月大ホール練習利用、来年2月大ホール本番利用 日先行受付(利用調整会議) : 1月15日(土) 通常受付: 2月1日(土)から
▼9月大ホール練習利用、来年3月大ホール本番利用 日先行受付(利用調整会議)

整会議) : 2月15日(土) 通常受付: 3月1日(土)から

▼10月大ホール練習利用、来年4月大ホール本番利用 日先行受付(利用調整会議) : 3月15日(土) 通常受付: 4月1日(土)から

▼共通 日先行受付: 市内団体等が行う芸術文化事業等 日同館 24・5188 他先行受付は利用調整会議(時午後6時30分 場同館)に要出席。通常受付等は先着順。空き状況等はHP

自衛官候補生採用試験 (男子・女子)

日2月15日(土) 場陸上自衛隊神町駐屯地(東根市) 対18歳以上33歳未満の日本国籍を有する方 日受付期間 1月18日(土)〜2月7日(金) 日自衛隊山形地方協力本部鶴岡出張所 22・0466

山形県立こころの医療センター開院5周年 シンボルマーク募集

各賞 最優秀賞: 3万円、優秀賞(2点) : 1万円 日応募 2月29日(土)まで同センター 64・8100へ 他HP

いつも心にふるやとを inふれあいだよりメール登録者募集

本市は(株)山形新聞社と提携し、地元の情報を提供するメールマガジンを配信しています。

日配信日 毎週金曜日 日イベント情報、市からのお知らせ、山形新聞に掲載されたニュース等 日登録方法 同

11112元気相談会

日1月13日(土)・25日(土)、2月10日(土) 日午前10時〜午後5時 場楽家 日法律問題、家庭問題、職場の人間関係、心の悩み相談等 日ぼらんたす 33・8730

医療用ウィッグと乳房手術 後補整下着の合同相談会

日1月16日(土)午後1時〜3時 日日本海総合病院(酒田市) 日病氣治療中で脱毛が心配な方、乳房手術後の方 日各専門店のアドバイザーによる相談 日同院がん相談支援センター 23・4・26・5282

弁護士が相談に応じます 勤労者無料法律相談会

日1月31日(土)午後3時〜7時 日市内、三川町、庄内町に在住または勤務の方先着8人 日場・日1月30日(土)まで東北労働金庫鶴岡支店 22・3147へ

マガーズおしごと相談会 in鶴岡

日①1月20日(土)、②2月10日(土)、③3月9日(土) 日時・日午前10時30分: セミナー(①「今、考えたい! ママの働き方と将来へのキャリアアップ」、②「就職活動の基本とポイントを知ろう!」③「話し方を知ろう!」) 日(定)各日5人

ぐるぐる庄内

庄内町 東北の奇祭！やや祭り

身体堅固・無病息災を願い少年たちが裸に腰ミノ姿で冷水を浴び集落を一周、青年たちも冷水を浴びながらお百度参りを行う伝統の神事です。

日 1月12日⑩午後1時

場 千河原八幡神社

問 庄内町観光協会 ☎0234 - 42 - 2922

遊佐町 ゆざ町たらふくまつり

日本海の冬の荒波にもまれ脂がのった寒鰯とフグをみそで煮込み、香り豊かな岩のりをトッピングした「鰯ふく汁」をお楽しみください。

日 1月19日⑩午前11時～午後1時

場 マルチドーム「ふれんどりい」

■前売り券…1,220円（鰯ふく汁・たこ飯、買物券・抽せん券付き） 当日券…510円（鰯ふく汁のみ）

■前売り券取扱い・問 遊佐鳥海観光協会 ☎0234 - 72 - 5666

酒田市 酒田日本海寒鰯まつり

日 1月25日⑩・26日⑩午前10時30分～午後3時30分（寒鰯汁販売は午後2時まで。売り切れ次第終了）

場 中町モール、中通り商店街、J R酒田駅前、さかた海鮮市場

内 お祭りテント市、「食の都庄内」親善大使寒鰯フェスタ、酒の酒田の酒まつり、太鼓演奏

費 寒鰯汁1杯600円（寒鰯フェスタは1杯700円）

問 同まつり実行委員会 ☎0234 - 22 - 9311または酒田市交流観光課 ☎0234 - 26 - 5759へ

他 酒田市消防出初式・世界の料理フェア2020同時開催

三川町 令和2年2月2日はにやんにやんにやんの日 みかわ・あったか冬まつり

日 2月2日⑩午前10時～午後2時

場 いろり火の里なの花ホール

内 フードコート、キッチンカー、猫の里親探し会、「にゃんこを探せ」抽選会、おうちの猫の缶バッジを作ろう！、猫モチーフの小物やスイーツの販売、猫のおもちゃなどグッズ販売等

問 三川町観光協会 ☎66 - 4656

■ 工事期間 2月17日⑩～3月31日⑩
午前8時30分～午後5時 ■ 工事場所
文下地内 閩庄内総合支庁道路計画課
☎66・2111

■ その他
片側交互通行となります
蛾眉橋橋梁補修工事のお知らせ

要申込み）午後1時～3時：個別相談会 場 ハローワーク鶴岡 閩マザーズジョブサポート庄内 ☎0234・28・8061 他 託児あり（要申込み）

▼ 税務署へ提出する申告書や申請書等
には、マイナンバーの記載が必要です
申告書等の税務関係書類には、マイナンバー（個人番号）の記載が必要です。また、提出時には、本人確認書類の提示または写しの添付が必要です。
なお、過去の申告手続等において、マイナンバーを記載した申告書等を税務署に提出している場合であっても、申告書等の提出の都度、マイナンバー

午後2時～ひるごはんの日 1月21日⑩、2月18日⑩午後6時～8時：よるごはんの日 場 衆家 費 大人：300円 高校生以下：200円 申 各日4日前までぼらんたす ☎33・8730へ

鶴岡税務署のお知らせ

の記載が必要ですのでご注意ください。詳しくは、国税庁HPをご確認ください。
問 同署 ☎22・1401

乳房インプラントによる乳房手術を受けた方、乳房再建を希望する方へ

昨年、乳房インプラントが原因とみられる合併症が発見されました。国内でも、アラガン社製のナトレル410等が合併症のリスクを有するとされ、自主回収が始まりました。症状のない方が予防としてインプラントを摘出する必要はありませんが、腫れ等がないか自分で確認をお願いします。
また、日本で流通していた乳房再建用ティッシュエクスパンダーと乳房インプラントは、メーカーの自主回収に

より使用できなくなっていました。昨年に代替品が認可されました。詳しくは一般社団法人日本乳房オンコプラステティックサージャリー学会HPをご覧ください。

問 同学会 ☎jopbs-office01@shunko-sha.com

山形県の特定（産業別）最低賃金が改正されました

▽一般産業用機械・装置等製造業 859円
▽電気機械器具等製造業 843円
▽自動車・同附属品製造業 853円
▽自動車整備業（整備に携わる者に限る） 862円
■ 効力発生日 令和元年12月25日 問 山形労働局賃金室 ☎023・624・8224

各種相談窓口

※主に市が開設している暮らしに関する相談窓口を紹介します。
その他の様々な悩みごとは「総合相談」へお問い合わせください。

内 容	相談窓口・電話番号	相 談 日 時 等
総合相談(身近な悩みや心配ごと等)	鶴岡市総合相談室 ☎0120 - 866 - 294	月曜～金曜日(祝日は除く) 9:00～16:00
消 費 生 活 相 談	消費生活センター ☎25 - 2982	月曜～金曜日(祝日は除く) 9:00～16:00
内職相談、若年者職業紹介	鶴岡ワークサポートルーム ☎25 - 2215	
教育相談(学校教育・就学に関すること)	教育委員会学校教育課 ☎57 - 4864	月曜～金曜日(祝日は除く) 9:00～17:00
// (青少年の健全育成)	青少年育成センター ☎0120 - 028 - 234	
// (不登校・適応指導教室等)	教育相談センター ☎23 - 9351	月曜～金曜日(祝日は除く) 9:00～16:00
子ども総合相談窓口(妊娠・出産・子育ての悩み等)	子育て世代包括支援センター ☎35 - 1118	
子 育 て ・ 家 庭 児 童 相 談	子ども家庭支援センター ☎25 - 2741	
ひとり親・女性相談	本所子育て推進課 ☎内線151	月曜～金曜日(祝日は除く) 8:30～17:15
障害者に関する相談(身体・知的・精神・児童)	障害者相談支援センター ☎25 - 2794	
仕事や暮らしに関する相談	鶴岡地域生活自立支援センター「くらし」 ☎29 - 1729	
高齢者に関する相談	お住まいの地域を担当する地域包括支援センターへ	

今月の各種相談窓口開設日 1/4～2/3

内 容	問 合 せ	相 談 日 時 ・ 会 場 等
行 政 相 談 (行政相談委員)	本所市民課 ☎内線158	14日 ☎14:00～16:00・市役所本所
	藤島庁舎総務企画課 ☎内線216	24日 ☎13:00～15:00・藤島ふれあいセンター
	羽黒庁舎総務企画課 ☎内線218	21日 ☎13:30～15:30・市役所羽黒庁舎
	櫛引庁舎総務企画課 ☎内線218	8日 ☎10:00～12:00・産直あぐり
	朝日庁舎総務企画課 ☎内線307	21日 ☎13:30～15:30・朝日中央コミュニティセンター
	温海庁舎総務企画課 ☎内線312	23日 ☎13:00～15:00・温海ふれあいセンター
登 記 相 談	本所市民課 ☎内線158	16日 ☎14:00～16:00・市役所本所
休 日 年 金 相 談	日本年金機構鶴岡年金事務所 ☎23 - 5040	11日 ☎ 9:30～16:00(要予約)・同事務所

休日・平日夜間診療

☎健康課(にこふる) ☎内線361

●急な病気の際は……休日夜間診療所 ☎23 - 5678

- ・開所日 <日曜日、祝日、年末年始> ① 9:00～11:30
② 13:30～16:30
③ 18:00～20:30
<上記以外の月曜～土曜日> ④ 19:00～21:30
- ・診療科 内科、小児科、外科(②のみ)
※小児科は、①のみ小児科医が診察します。

●休日の歯痛の際は……休日歯科診療所 ☎23 - 0372

- ・開所日 <日曜日、祝日、年末年始> ① 9:00～12:00
② 13:00～15:00

献血 1/4～2/3

献血会場で骨髄ドナー登録もできます
☎健康課 ☎内線361

月 日	受付時間	会 場
1. 8 ☎	9:30～11:00	高島産業(株)庄内工場
//	13:30～15:30	鶴岡協立リハビリテーション病院
11 ☎	10:00～12:00	鶴岡協同の家こびあ
//	13:30～16:00	//
16 ☎	9:30～11:30	鶴岡中央工業団地管理センター
//	13:00～15:30	//
17 ☎	13:30～15:30	市役所温海庁舎
28 ☎	13:00～15:00	(株)高砂製作所

編集・発行／鶴岡市総務部総務課

鶴岡市役所 本所	〒997-8601 (メールアドレス) (ホームページ) (フェイスブックページ) (窓口受付時間)	山形県鶴岡市馬場町9-25 ☎0235-25-2111 FAX0235-24-9071 tsuruoka@city.tsuruoka.lg.jp http://www.city.tsuruoka.lg.jp https://www.facebook.com/tsuruokacity 月曜～金曜日(祝日・年末年始を除く) 午前8時30分～午後5時15分
藤島庁舎	〒999-7696	市内藤島字笹花25 ☎64-2111
羽黒庁舎	〒997-0192	市内羽黒町荒川字前田元89 ☎62-2111
櫛引庁舎	〒997-0346	市内上山添字文栄100 ☎57-2111
朝日庁舎	〒997-0492	市内下名川字落合1 ☎53-2111
温海庁舎	〒999-7205	市内温海戊577-1 ☎43-2111

→メールは
こちらから



→ホームページは
こちらから



《人口と世帯》(令和元年11月30日現在)
住民基本台帳人口合計: 125,569人
(男: 60,101人、女: 65,468人)
世帯数: 49,029世帯

今年

子^ね

年です



幸多き一年となりますように

令和2年は子年。鶴岡市で鼠ねずみと言うと、温海地域の鼠ヶ関が思い浮かびます。新潟との県境に位置し、かつては蝦夷えぞ対策として関所が置かれていました。白河関・勿来関とともに奥羽三関と呼ばれた、東北地方の玄関口です。

鼠ヶ関の地は数々の文献や作品に登場しますが、その呼ばれ方は様々です。源義経の生涯を描いた『義経記』では「念珠の関」、松尾芭蕉の『おくのほそ道』では「鼠の関」とされています。『ねずみ(ねず・ねんじゅ)』の由来については、「子(ね・北)の津(つ・港)」「寝ずに見張り番をした関所」「海岸に連なる小島を念珠(数珠)に例えた」など、諸説あるようです。文中の写真は県境付近にある「鼠喰岩ねずみかじりいわ」です。数多く空いた穴が、鼠がかじったように見えることから、その名で呼ばれているのだとか。地名の由来の一つとも言われています。



鼠喰岩

「袋の鼠」「大山鳴動して鼠一匹」のように、追い詰められて逃げ場のない状態や、大したことがない様の例えに使われる鼠。実際の鼠は、繁殖力が強く、環境適応能力が高いという特徴があります。体は小さくとも強い生命力をもつ鼠のように、日々を健やかに過ごしていきたいものですね。今年が皆さんにとって、たくさん良いことが積み重なる年でありますように。